

平成23年度千葉市救急業務検討委員会
「第1回 マニュアル・プロトコール専門部会」

日 時：平成23年11月1日（火）
19時00分から

場 所：千葉市消防局（セーフティーちば）
4階会議室1

次 第

1 開 会

2 千葉市救急業務検討委員会「第1回マニュアル・プロトコール専門部会」部
会員及び事務局員紹介

3 議 題

議題1：部会長の選出及び職務代理者の指名について
（千葉市救急業務検討委員会設置条例第7条第7項関係）

議題2：議事録の確定方法について
（千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱第6の2関係）

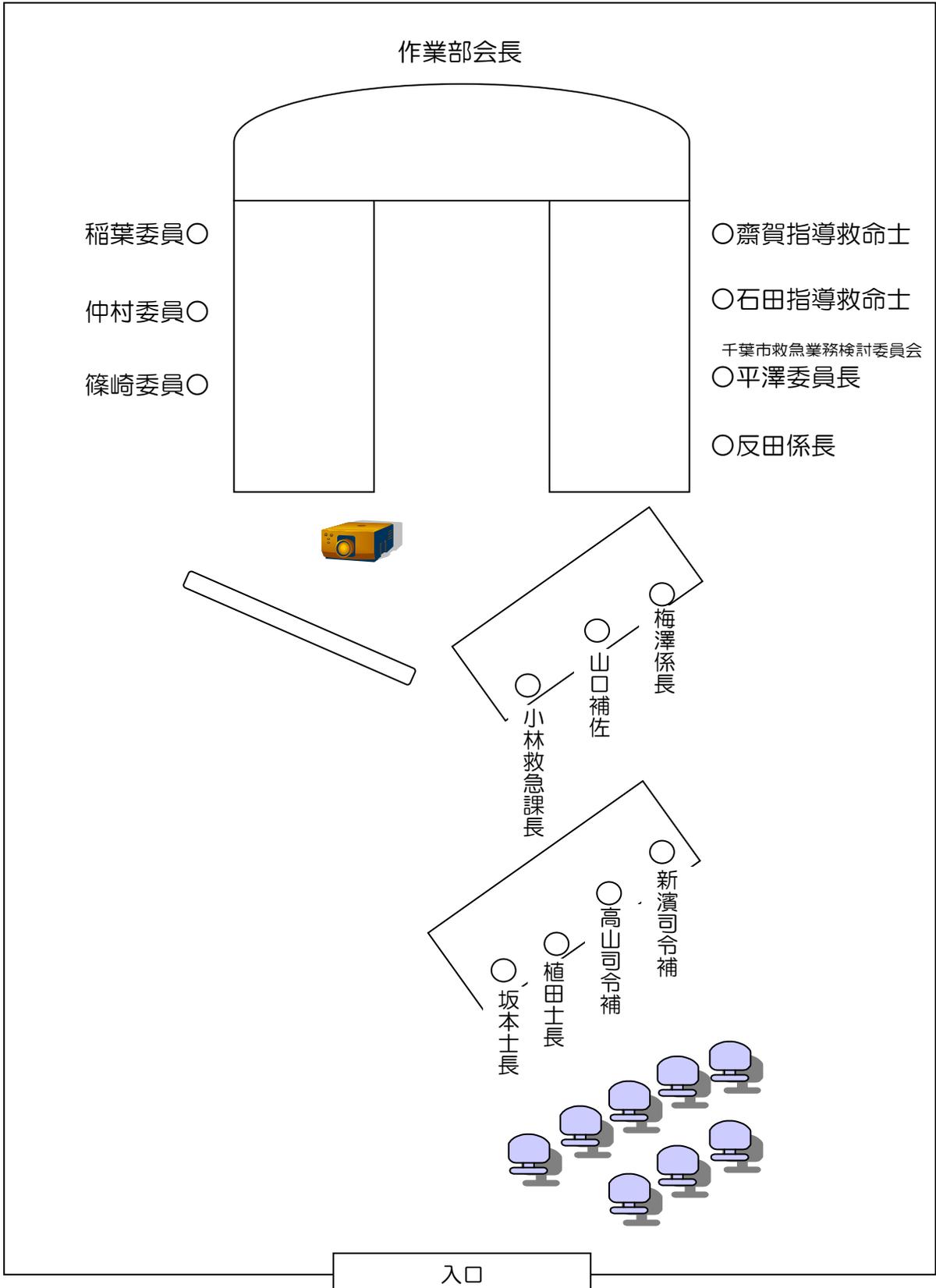
議題3：「第1回マニュアル・プロトコール専門部会」での検討事項について

議題4：作業部会の設置について

4 その他

平成23年度千葉市救急業務検討委員会「第2回 マニュアル・プロトコー
ル専門部会」の開催日程について

平成23年度千葉市救急業務検討委員会
「第1回マニュアル・プロトコール専門部会」席次表



議題 1

件 名 : 部会長の選出及び職務代理者の指名について

議案要旨 : 千葉市救急業務検討委員会設置条例第7条第7項の規定に基づき、部会長の選出についてご審議をお願いするものであります。

<p>【千葉市救急業務検討委員会設置条例】 ※抜粋 (専門部会) 第7条第7項 専門部会に専門部会長を置き、専門部会に属する 委員及び臨時委員の互選により定める。</p>

添付資料 : 資料1「マニュアル・プロトコール専門部会」委員名簿

マニュアル・プロトコール専門部会名簿

委員

稲葉 晋 (千葉県救急医療センター 麻酔科医長)
篠崎 広一郎 (千葉市立青葉病院 救急集中治療科医長)
仲村 将高 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療
医学 助教)

指導救命士

斎賀 喜博 (稲毛消防署警防課救急係長)
石田 悦美 (緑消防署警防課救急係長)

オブザーバー

平澤 博之 (千葉市救急業務検討委員会 委員長)

事務局

千葉市消防局警防部救急課

議題2

件 名 : 議事録の確定方法について

議案要旨 : 千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱第6の2「議事録の確定」の規定に基づき、本部会議事録の確定方法についてご審議をお願いするものです。

<p>【千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱】 ※抜粋</p> <p>第6 議事録の作成等</p> <p>2 議事録の確定</p> <p>附属機関は議事録の案を作成した後、速やかに、次のいずれかにより議事録を確定するものとする。</p> <p>(1) 会議における議決</p> <p>(2) 委員全員による個別の承認</p> <p>(3) あらかじめ指名された委員等による承認</p> <p>(4) その他、附属機関が定める方法</p>

事務局案 : 事務局としては、千葉市救急業務検討委員会と同様、上記(3)の「あらかじめ指名された委員等による承認」による方法として手続きをお願いするとともに、本専門部会長及び千葉市救急業務検討委員会の委員長の承認をもって、議事録の確定としたい。

議題 3

件 名 : マニュアル・プロトコール専門部会での検討事項について

議案要旨 : マニュアル・プロトコール専門部会において、下記の項目について検討をお願いするものであります。

【検討項目】

- (1) 救急隊現場活動マニュアル
- (2) 指令センター常駐医師用マニュアル
- (3) 共同指令センターにおける指令管制員が行う口頭指導プロトコール
- (4) ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（AWS）について
- (5) 常駐医師の業務について
- (6) 医療機関において行う緊急度分類について
- (7) その他、改訂等に当たって必要となる統一事項について

添付資料 : 資料 2-1 「本専門部会での検討事項について」
資料 2-2 「救急隊現場活動マニュアル」
資料 2-3 「指令センター常駐医師用マニュアル」
資料 2-4 「口頭指導プロトコール」
資料 2-5 千葉県「指令業務の共同運用とメディカルコントロール体制に関する検討会」スケジュール
資料 2-6 共同指令センターの運用に関する組織関係図
資料 2-7 平成 23 年 8 月 1 日付け「救急救命士の気管内チューブによる気道確保の実施に係るメディカルコントロール体制の充実強化について」（消防庁救急企画室長、厚生労働省医政局指導課長連名通知）
資料 2-8 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡について
資料 2-9 傷病者の受入れに関する消防と医療の連携体制構築について
『平成 23 年度第 2 回千葉市救急業務検討委員会資料』
資料 2-10 救急の各段階における緊急度分類
『平成 22 年度総務省消防庁「救急業務高度化推進検討会 報告書」より一部抜粋』
資料 2-11 救急搬送における緊急度判定の必要性について（提案）
千葉市立青葉病院 高橋病院長より提案
資料 2-12 G2010 日本語版
* 資料 2-2 から資料 2-11 を、CD にて各専門部会員へ配布いたします。

【議題3】 本専門部会で検討事項について

G2010の公表にともなう当局の対応

日本蘇生協議会と日本救急医療財団で構成されたガイドライン作成合同委員会から心肺蘇生に関する「JRC(日本版)ガイドライン2010」(以下「G2010」)が公開された。



【消防機関に関連する今後の展開】

- 「心肺蘇生法の指針」改訂(日本救急医療財団)
 - ・市民用10月公表
 - ・医療従事者用は12月公表予定
- 「救急隊員の行う応急処置等の基準」改訂(総務省消防庁)
 - 心肺蘇生法の指針(医療従事者用)公表後改訂予定
- 「救急救命士標準テキスト」及び「救急隊員標準テキスト」改訂
改訂に向け作業中

上記については、いずれも今年度中に公表予定で国及び関係機関において作業中

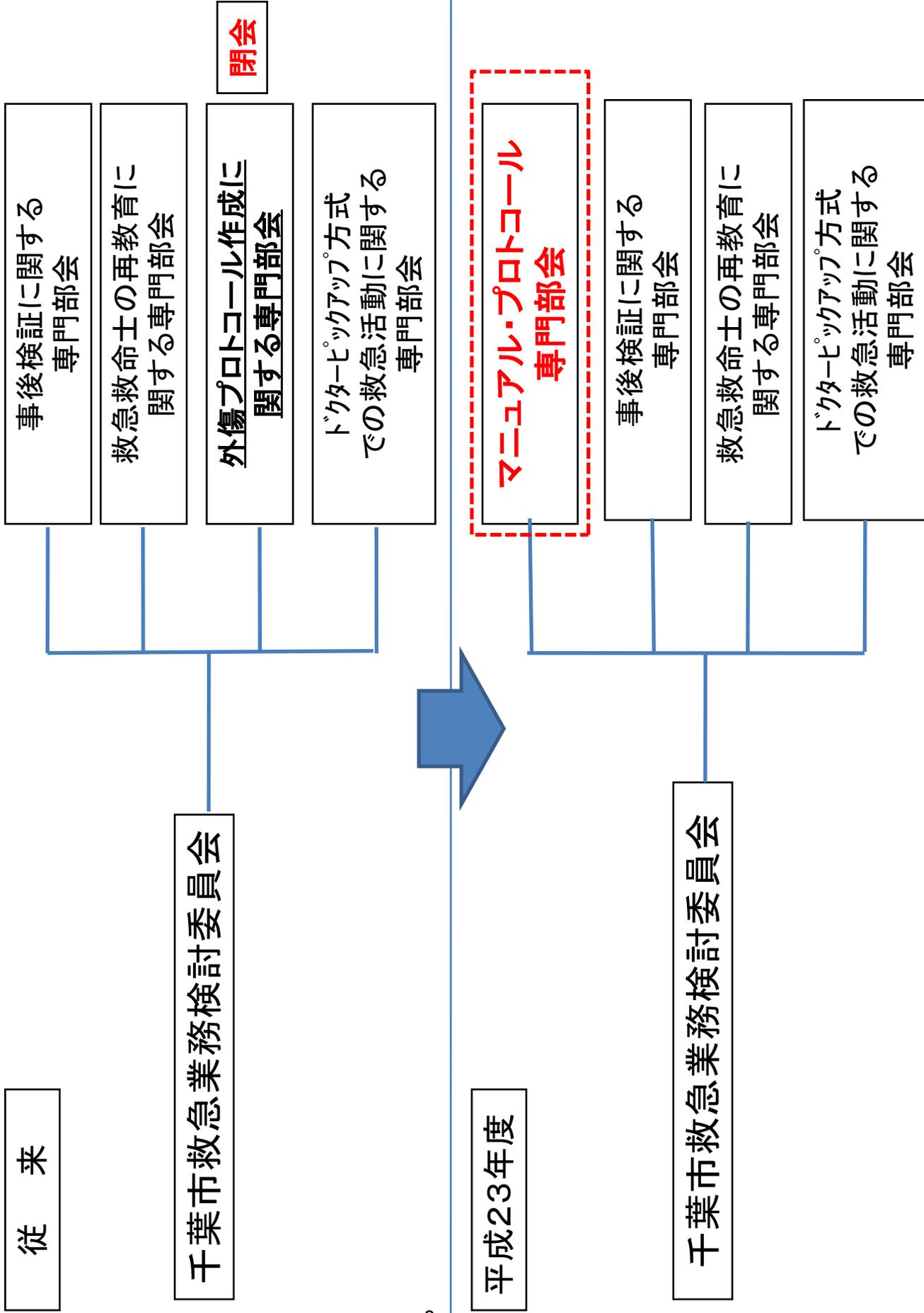


ガイドライン2010の公表に伴い、当局で定めている各種マニュアルについて見直しを図るため、平成23年度第2回千葉市救急業務検討委員会(9月5日開催)において、「マニュアル・プロトコール専門部会」の設置について承認された。

見直し及び改訂が必要とされるマニュアル等

- 救急隊現場活動マニュアル
- 指令センター常駐医師用マニュアル
- 共同指令センターの指令管制員が用いる口頭指導プロトコール

千葉県救急業務検討委員会について



マニュアル及びプロトコルの構成

○消防庁及び厚生労働省並びに関係機関が示した通知等を踏まえ作成。

○さらに、メディカルコントロール側の指令センター常駐医師については、「指令センター常駐医師用マニュアル」に基づいて、主に医師の具体的指示が必要とされる救急救命士が行う、いわゆる特定行為について指示を行っている。



○救急隊現場活動マニュアル及び指令センター常駐医師用マニュアルについては、平成24年度中に取りまとめ千葉市救急業務検討委員会に上程し承認後、平成25年度より運用開始

○共同指令センターで使用する口頭指導プロトコルについては、平成24年4月を目的に取りまとめ、千葉市消防局案として千葉県「指令業務の共同運用とメディカルコントロール体制に関する検討会事務局」へ提出
※共同指令センターの運用開始は平成25年4月

【マニュアル及びプロトコール改訂に当たっての検討事項】

- 1 各マニュアルの構成についての統一化
 - 使用者側に立ち、見やすい構成とする
- 2 表現方法等の整合性
 - これまで処置範囲拡大等の対応として追補してきたことから各マニュアルについての説明文等の表現方法(画像の取込み等)の見直しを行うとともに整合性を確認する
- 3 追加項目
 - 従来の項目のほか、追加項目について検討を行う
- 4 各通知文・救急救命士法及び関係法令の入れ込み
 - 根拠法令等、救急業務を遂行するに当たり、必要となる関係法令をマニュアルに入れより活用し易いマニュアルとする
- 5 上記の改訂に必要な教育について
 - 各マニュアル及びプロトコールの改訂に当たって必要となる教育について検討を行う

G2010公表に伴い総務省消防庁及び厚生労働省並びに関係機関より発出された通知等を踏まえた構成とし、平成24年末に素案を各作業部会で取りまとめ。

千葉県救急業務検討委員会においてG2010公表に伴い各種プロトコルを見直し改訂するほか、下記の事項について検討することとされた。

- 常駐医師の業務についての検討
- H23. 8に通知されたビデオ硬性挿管用喉頭鏡について、救急現場における有用性及びプロトコルの検討及び教育体制の構築に関する検討
- 医療機関における緊急度分類による受入体制の構築及び伝達する救急隊員に必要な教育に係る検討並びに連携体制の検討

議題4

件 名 : 作業部会の設置について

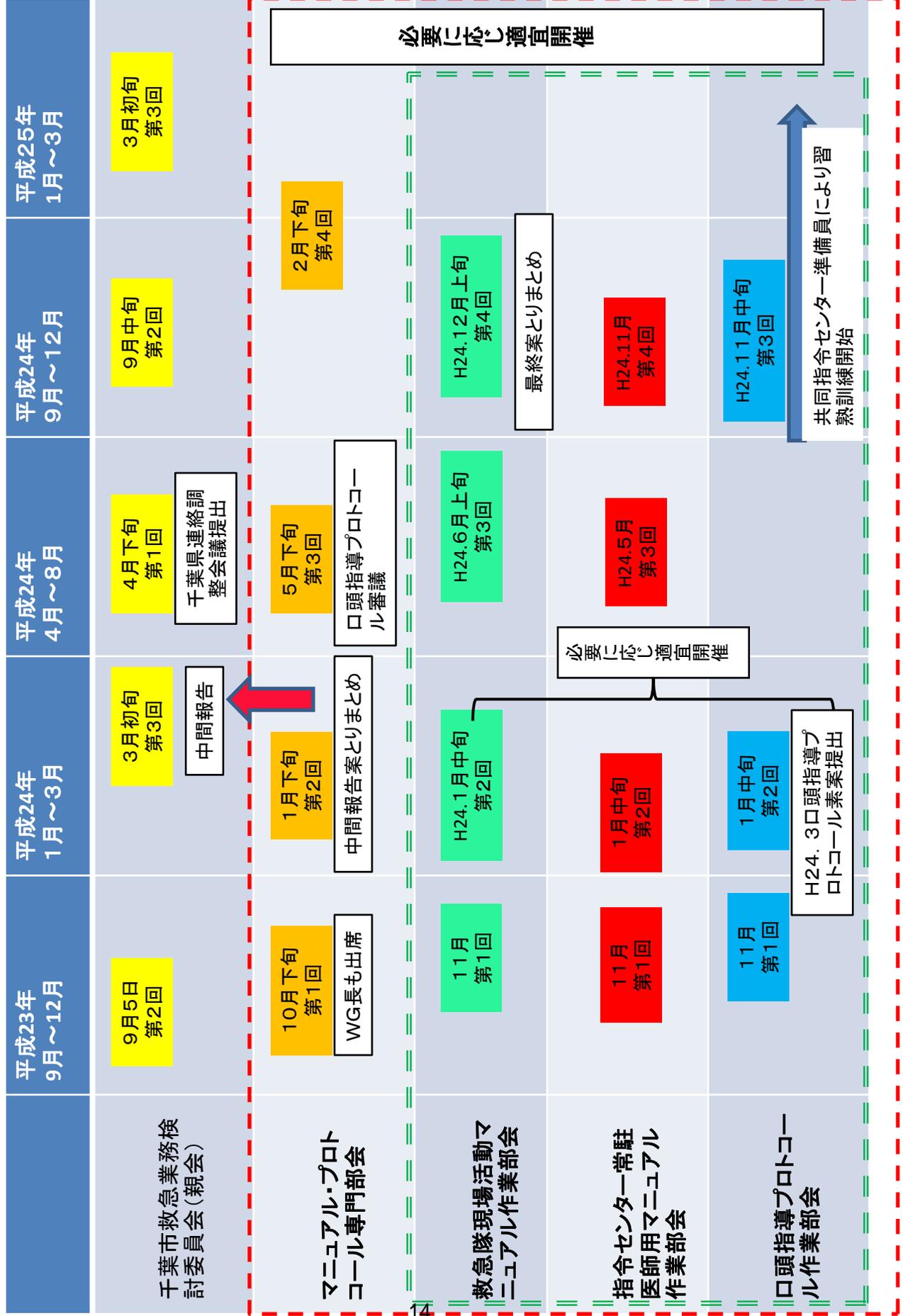
議案要旨 : マニュアル及びプロトコルの改訂作業に向け作業部会を設置することについて検討をお願いするものです。

事務局案 : 事務局としては、構成委員である3名の医師がそれぞれ作業部長として御就任いただき、作業部会員として4から5名の救急救命士等を招聘し改訂作業を行うものとしたい。

添付資料 : 資料3「マニュアル・プロトコル作業部会構成員（事務局案）」

【議題4】 作業部会の設置について

マニュアル・プロトコール専門部会スケジュール事務局案



改訂に至るまでの手順

各作業部会

担当する各マニュアル及びプロトコル等
について検討し必要な見直しを行う



マニュアル・プロトコル専門部会

作業部会において検討し提案されたマニュアル及び
プロトコル等について検討し必要な見直しを行う



千葉市救急業務検討委員会

作業部会から上程された改訂案について審議する



千葉市消防局

必要な事務手続きの上、運用を開始する

I 改訂が必要と思われる救急隊現場活動マニュアル部分

〈第1〉救急業務に関する法制度等

〈第2〉千葉市の救急業務実施体制 ※DPU方式等を含む

〈第3〉救急隊員の行う一次救命処置

〈第4〉救急救命士が行う特定行為プロトコール総論

〈第5〉個別プロトコール

1. 除細動プロトコール
2. 気道確保プロトコール
3. 静脈路確保プロトコール
4. 薬剤投与プロトコール(アドレナリン・エピペン)
5. 異物除去プロトコール

○ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管の検討

(事務局案)
「救急隊現場活動マニュアル作業部会」構成メンバー

- 委員名簿(◎作業部会長 ○作業部会長補助 ●班長)
- ◎仲村将高 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 助教)
 - 齋賀喜博 (稲毛消防署警防課救急係長)
 - 石田悦美 (緑消防署警防課救急係長)
 - 奈良清孝 (中央消防署警防課救急係長)
 - 田端隆司 (花見川消防署畑出張所)
 - 松本貴史 (緑消防署誉田出張所)
 - 柴田春樹 (花見川消防署作新台出張所)
 - 高木直人 (若葉消防署殿台出張所)

Ⅱ 改訂が必要と思われる部分

〈第2〉常駐医師の業務

〈第3〉救急隊員の行う一次救命処置

〈第4〉救急救命士が行う特定行為プロトコール総論

〈第5〉個別プロトコール

〈第8〉口頭指導マニュアル

〈その他〉見直しが必要と判断とされた事項

○常駐医師の業務として

- ・常駐医師による収容医療機関の選定及び交渉
- ・平時及び災害時における常駐医師のあり方

委員名簿(◎作業部会長 ○作業部会長補助 ●班長)

◎稲葉 晋 (千葉県救急医療センター 麻酔科医長)

○斎賀喜博 (稲毛消防署警防課救急係長)

○石田悦美 (緑消防署警防課救急係長)

●亀山俊一 (美浜消防署警防課救急係長)

長嶋弘明 (中央消防署蘇我出張所)

市原 優 (中央消防署臨港出張所)

三橋祐介 (緑消防署誉田出張所)

小村龍之介 (稲毛消防署警防課)

検討事項

千葉県救急業務検討委員会において本専門部会設置について以下の内容を検討することとなった。

- (1) 共同指令センターにおいて指令管制員が使用する口頭指導プロトコールについて
- (2) これまで傷病患者受入れに関する救急隊からの伝達事項については、医療機関ごとに必要となる情報が異なっている。
先般、千葉県が公表した、傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準については緊急度を重視した構成となっていることから、医療機関交渉時に対する伝達事項の統一について検討を行う
- (3) 緊急度分類に必要な救急隊員に係る教育に関する検討

委員名簿(◎作業部会長 ○作業部会長補助 ●班長)

◎篠崎広一郎(千葉市立青葉病院 救急集中治療科医長)

○斎賀喜博(稲毛消防署警防課救急係長)

○石田悦美(緑消防署警防課救急係長)

●宗像 磯(警防部指令課主査補)

倉並政章(若葉消防署都賀出張所)

鵜澤尚久(若葉消防署都賀出張所)

丸島和崇(中央消防署宮崎出張所)

4 その他

平成23年度千葉市救急業務検討委員会「第2回マニュアル・プロトコール
専門部会」の開催について

開催日時 : 平成24年1月下旬から2月上旬(予定)

※ 日程調整は平成24年1月中旬にFAX送信させていただきます。